



平成 19 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 5 3 2

平成 20 年 2 月期 6 月度の概況についてのお知らせ

平成 20 年 2 月期 6 月度の概況を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 単体売上高速報

(百万円)

| | 3月 | 4月 | 5月 | 1Q | 6月 | 7月 | 8月 | 2Q | 上半期 | |
|--------------|-------|-------|-------|--------|-------|----|----|----|-----|------|
| 売上高 | 3,819 | 3,613 | 3,104 | 10,536 | 3,001 | | | | | |
| 対前年同月増減率(実質) | 10.9% | 17.7% | 8.8% | 12.5% | 19.0% | | | | | |
| 対前年同月増減率(名目) | 7.8% | 13.9% | 4.2% | 8.7% | 14.0% | | | | | |
| | 9月 | 10月 | 11月 | 3Q | 12月 | 1月 | 2月 | 4Q | 下半期 | 年度累計 |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 対前年同月増減率 | | | | | | | | | | |

- (注) ・ 平成 18 年 9 月 1 日に株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門を会社分割し、子会社の株式会社アイ・カフェに承継したため、比較対象としている前年の単体売上高を以下のように区別しております。
- ・ 対前年同月増減率(実質)は、比較対象としている前年同月の単体売上高には、アイ・カフェ事業部門の売上高を控除した数字を使用しております。
 - ・ 対前年同月増減率(名目)は、比較対象としている前年同月の単体売上高には、8 月まではアイ・カフェ事業部門の売上高を含めた数字を使用しております。

2. 事業セグメント別 既存店売上高速報(対前年同月増減率)

| | 3月 | 4月 | 5月 | 1Q | 6月 | 7月 | 8月 | 2Q | 上半期 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|----|-----|------|
| 古本市場事業 | 7.1% | 12.9% | 6.9% | 8.9% | 14.9% | | | | | |
| アイ・カフェ事業 | 4.1% | 5.4% | 9.6% | 7.2% | 11.8% | | | | | |
| EC事業 | -9.5% | -4.9% | -4.8% | -6.4% | -5.4% | | | | | |
| (EC売上) | 4.1% | 9.8% | 9.7% | 7.8% | 6.8% | | | | | |
| (その他売上) | -89.1% | -88.8% | -88.7% | -88.9% | -91.4% | | | | | |
| | 9月 | 10月 | 11月 | 3Q | 12月 | 1月 | 2月 | 4Q | 下半期 | 年度累計 |
| 古本市場事業 | | | | | | | | | | |
| アイ・カフェ事業 | | | | | | | | | | |
| EC事業 | | | | | | | | | | |
| (EC売上) | | | | | | | | | | |
| (その他売上) | | | | | | | | | | |

- (注) ・ 事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、上記 1. 単体売上高の対前年同月増減率とは連動いたしていません。
- ・ アイ・カフェ事業は、連結対象子会社である(株)アイ・カフェの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ EC事業は、連結対象子会社である(株)ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ 既存店は、開店後 13 か月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

6月度のテイツー単体売上高は、対前年同月増減率（実質）で19.0%増の3,001百万円となりました。

古本市場事業の既存店売上高につきましては、新品ゲームハードの売上好調が続くとともに、中古ゲームソフト、古本の売上も好調に推移した結果、古本市場事業の既存店売上高は対前年同月比14.9%増となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、全店舗において季節限定の「夏のパワーアップメニュー」として有料フードを強化したほか、オンラインゲームなどのコンテンツ強化に注力した結果、既存店売上高は対前年同月比11.8%増となりました。

EC事業につきましては、コミック完結セットを半額で販売するなど販売強化に努めたほか、新品CDやDVDを中心に品揃えに注力した結果、EC売上高は対前年同月比6.8%増となりましたが、今年2月にトナー事業を売却したことにより、EC事業トータル売上高は対前年同月比5.4%減となりました。

4. 出退店の状況

| | 07/5 末店舗数 | 出店数 | 退店数 | 07/6 末店舗数 |
|----------------|-----------|-----|-----|-----------|
| 古本市場事業 | 116 | 0 | 0 | 116 |
| （古本市場直営店） | （86） | （0） | （0） | （86） |
| （古本市場業務提携・FC店） | （26） | （0） | （0） | （26） |
| （ブック・スクウェア） | （4） | （0） | （0） | （4） |
| アイ・カフェ事業 | 32 | 1 | 1 | 32 |
| （直営店） | （15） | （1） | （0） | （16） |
| （FC店） | （17） | （0） | （1） | （16） |
| 合計 | 148 | 1 | 1 | 148 |

（注）売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。

また、監査法人による会計監査は受けておりません。

以上